THE ROTARY CLUB OF KITAMI

Rotary

R. I. DISTRICT 2500 JAPAN

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス https://www.kitamirc.jp

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレッツォ

第 3525 回例会・2025 年 10 月 22 日

本日のプログラム

新人卓話 「最近ハマっていること」

住友生命保険相互会社
支社長 藤澤 慎也 会員

第3524回例会（10月15日）の記録

ロータリーソング それでこそロータリー

ゲスト 北見工業大学 名誉教授 鈴 木 聡一郎 様

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。本日のゲストをご紹介します。北見工業大学名誉教授の鈴木聡一郎様です。ご来訪ありがとうございます。本日は卓話をお願いしております。非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

先週、北見ローターアクトの例会に、吉田ローターアクト委員長とともに参加させていただきました。ローターアクトのメンバーの転勤に伴う引き継ぎなどが行われていたようです。また、加納副会長より、引き続きローターアクトの会員拡大については、北見ロータリークラブの皆さんにもご協力をお願いしたいとのことでした。お若い方がいらっしゃいましたら、ぜひローターアクトの方にご紹介いただければと思います。

さて、10月の「ロータリーの友」の中に、第2660地区大阪吹田江坂ロータリークラブがスポンサーとなって活動している「関西大学ローターアクトクラブ」の紹介がありました。彼らは地域のお祭りや盆踊り、清掃活動などをお手伝いしているそうです。地域の方々との交流を通じて子どもたちの笑顔に触れることに大きな喜びを感じながら、活動を続ける中で、地域の学生と支え合う関係を学んでいるようです。本日は榮坂学長、安酸学長もいらっしゃいますので、ローターアクトの活動にお力添えをいただければと思います。

さて、私の業界は灯油販売を中心に行っておりますが、もう一つの会社ではお茶の販売もしております。お茶の業界では、煎茶を作る農家の高齢化が進んでおります。人手不足も深刻化し、離農される農家が非常に多くなっています。一方で、抹茶の原材料となる「碾茶（てんちゃ）」を生産する農家は増えてきています。今は世界的な「抹茶ブーム」となっており、価格も通常の価格より２倍、３倍と高騰しています。当社でも、12月頃には在庫がなくなるのではないかと思っておりますので、ご入用の方は早めにご購入いただければ幸いです。先週、ドイツからの観光客がうちのお茶屋さんに来まして、爆買いをしていかれました。会社としては嬉しい限りですが、その影響で在庫がなくなってしまいました。現在、早急に発注を行い対応しているところです。このような市場の動きになっておりますが、しっかりと見ながら会社を運営していきたいと考えております。本日も例会をお楽しみいただき、以上で会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告 高橋幹事

1．10月16日18時半より、オホーツクビール園で新入会員オリエンテーションが開催されます。ご参加の皆様、どうぞよろしくお願いします。
2．10月25日 第2500地区地区大会釧路大会が開催されます。登録されて宿泊される方に、本日メールを送りました。ご確認の上、ご参加をよろしくお願いします。

ニコニコＢＯＸ

柏尾会員～10月11日（土）に栗原学園創立70周年式典を開催いたしました。この度は、多くの北見ロータリークラブの皆様にご臨席を賜わりありがとうございました。今後も地域で必要とされる教育機関になれるように学校運営に努めてまいります。

小池会員～本日は勉強のため欠席することをお許し下さい。事前メークアップ済みです。来年は受験を控える娘に勉強で頑張っている姿を見せたいと思いノリで応募し、８月７日から本気で始めた宅建士試験の勉強、ノリで始めるものじゃないと気付いたのが８月10日、約二か月ですが頑張っている背中だけは見せることが出来たので本望です。悔いはなく思い残すことはありません。あとは野となれ山となれ。日曜日の試験頑張ってまいります!!

プログラム

ゲスト卓話「北見工大と共創する新しい大学発スタートアップの姿」

北見工業大学 名誉教授 鈴 木 聡一郎 様

皆さん、こんにちは。私は昨年３月に学長を任期満了で退任いたしまして、現在は榮坂学長にバトンタッチしております。私はその後、今年３月に定年退職いたしました。正式には名誉教授という形になりますが、現在は特任教授、学長補佐という形で大学に残っております。そして今月、新しいスタートアップを立ち上げる予定で、登記の準備を進めているところです。大学発のスタートアップというと大きな成功例ばかりが報告されていますが、実際にはうまく発展していくケースは少ないです。もっと小規模でも数を増やして、大学もスタートアップも共に潤っていけるような仕組みをつくろうとしております。今日はその取り組みについてご紹介いたします。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私は昨年３月、学長を退任する２週間前に突然倒れ

ました。今はおかげさまで元気になり、お酒もスポーツもだいぶ楽しめるようになりました。これからの起業活動でも体力が必要になると思いますが、皆さんと共に頑張って発展させていきたいと思っております。

それでは本題に入ります。北見工業大学と共創する新しい大学発スタートアップの姿として、「キットファースト」という合同会社を立ち上げます。北見工大では冬季スポーツ科学に力を入れて取り組んできました。スポーツ科学を推進するセンターがあり、カーリングとスキーの２本柱で、科学の力を使って世界で通用するトップアスリートを育成し、メダルを確実に取れるような選手を育てることを目指しています。その一方で、こうした活動を北見で行うことで、地域の皆さんの健康寿命の延伸や地域の活性化に繋げるという目的もありました。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、日本のスキー界は現在かなり低迷しています。スキー産業自体も衰退し、選手もなかなか活躍できていません。IOCの副会長まで務められた猪谷千春さんが、70年前にイタリア・コルティナダンペッツォオリンピックで銀メダルを獲得しましたが、それ以来メダルに届いた選手がいない状況です。そこで、世界トップレベルの選手の動きを分析し、それを子ども達の育成に結びつけ、世界トップレベルの選手を育てようという取り組みを進めてきました。その過程で生まれた新しい技術を使って、これから商売していこうという話です。

一般的に、アスリートの動作分析には「モーションキャプチャーシステム」が用いられます。特殊な赤外線を出し、それを反射して戻ってくる赤外線だけを捉えるカメラを使用します。本学にもこの設備がありますが、安いものでも数千万円、高いものでは数億円します。また、カメラで囲まれた室内空間でしか使えないため、スキーのような屋外スポーツでは利用できません。そこで私たちは、オリンピックや世界選手権、ワールドカップなどで撮影された映像から、選手の立体的な動きを解析できないかという研究を続けてきました。この研究はかなり成果を出して、私自身も全日本スキー連盟の専門委員として、スキー技術の教科書づくりにも携わりました。今まさに日本のスキー技術が変わりつつある状況です。ただし、分析には非常に時間がかかります。１秒間のスキーターンを分析するのに１週間ほどかかっていました。これでは研究もデータ蓄積も進まないので、「AIで自動化できないか」という研究を始めたのです。４～５年かけて開発を進め、ようやく完成しました。かなり精度が上がり、スキーの研究も大きく進展しました。現時点で、世界で誰もこの技術に追いついた技術を持っていないということで、これを商売にしようというスタートアップになります。この技術が実用化されれば、従来のようにカメラを何十台も設置して囲む必要がありません。録画映像で解析できるということは、スマートフォンの撮影でも可能ということです。つまり、スマホアプリで世界中に配布できるBtoCの商売が世界市場に展開できることになります。操作も非常に簡単で、自分の動きをスマホで撮影してAIに送信すれば、自動的に分析結果が返ってくる仕組みです。分析データは保存されるので本格的な研究にも使えますし、アニメキャラクターを重ねれば映像制作やアニメーションにも応用可能です。映画制作ではハリウッドなどでモーションキャプチャーが多用されていますので、売り込みに行けると思っています。現在、モーションキャプチャーが最も使われているのは、ゲームソフトの開発です。格闘ゲームを作るには、スタジオで高いお金を払って本物の格闘家を準備して動作を取ってキャラクターに被せることをしていますが、それがスマホ１つで出来てしまいます。プロ野球でも、今後はベンチや観客席からスマホで撮影するだけで解析ができるようになります。試合中に相手ピッチャーのフォームを分析し、癖を見つけてバッティングに対応していくことも可能になるかもしれません。

ただ、こうした技術だけではAmazon、Apple、Googleといった巨大企業がすぐに同様の技術を取り入れる可能性もあります。私たちはこれらの技術を「イーモーション」という商品名で販売を予定していますが、同時に「イーコーチ」というコーチングシステムも組み合わせる予定です。これまでのスキーとゴルフでの研究結果の蓄積を活かし、コーチングをしてくれるAIも開発しているところです。今年４月に東京ビッグサイトで開催された「AIエキスポ」に出展しました。そこで色々な大手企業から引き合いがあり、現在はその対応を行なっている状況です。市場調査にもかなりの資金を投じて進めてきました。モーションキャプチャーをスポーツ分野に応用するだけでも、日本国内で約５億円、海外を含めると50億円規模の市場があります。まずはここを起点として、スポーツ以外のエンターテインメント分野にも進出していきたいと考えています。特に今ニーズがあるのが、VTuberの分野です。安価なAIのモーションキャプチャーも存在しますが、精度が低く正確な動きを再現できません。その点、当社の技術は幅広く活用可能だと考えています。また、今話題の「体験型コンテンツ」にも展開可能です。東京ドームで開催されるアーティストのコンサートを、遠隔地にいる人が同時に体感できるようなシステムも検討中です。このように考えると、世界全体では20兆円規模の市場が見込まれますが、その中で我々がどれだけのシェアを獲得できるかが今後の勝負どころです。

大学との連携についてもご紹介します。大学の協力を得て事業を支援してもらう仕組みを考え、榮坂学長をはじめ事務職員の方々にも協力いただいて色々調査しました。株式会社では大学が出資できませんが、合同会社であれば出資準備金という形で大学からの支援が可能です。利益が出た際には、余剰利益の一部を配当として大学にフィードバックし、それを奨学寄付金として寄付すれば資金の循環が生まれます。この仕組みが増えれば、大学にも大きなメリットがあると考えています。大学には深い専門知識を持つ教員や意欲的な学生が多数います。大学発スタートアップの形を取ることで人材を安価に活用でき、非常勤社員として関わってもらうことも可能になります。つまり、世界最先端の知識と技術を安価で事業に取り込むことができるのが、大学発スタートアップのメリットです。大学とスタートアップの双方がウィンウィンの関係で資金を増やしていくことが可能になり、更なる新規事業を生み出していくことで若い人達がチャレンジできる環境が整っていきます。

今後の展開としては、まず国内のトッププレーヤーに無償で配布し、SNSで発信してもらう予定です。国内市場は約１万人規模と見ていますが、スキー市場が日本の数十倍に及ぶ中国や、スキーを国技とするヨーロッパに売り込みをかけていく予定です。再来年にはゴルフ分野にも本格参入する予定です。スポーツは種目によって新たに開発をしなければならないので、そこにお金も時間もかかります。その部分はBtoBの形で大手企業に費用を出してもらいながら開発を行ない、我々はBtoCで儲けを出せる仕組みを作りたいと考えております。もしご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、出資も随時受け付けております。必ず利益を上げられるよう取り組みますので、ぜひご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

会員の輪

10月24日～26日の３日間、パラボ様５階でオホーツク発酵食品フェスタ2025が今年も開催されます。発酵食品にスポットをあてた生産者一体型のイベントはオホーツク唯一です。お楽しみに。　（佐々木朋志）

出席報告　舟山出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計　算　式		A	B	C	D	E	F	C＋E＋F	C＋E＋F/(A－B)＋D×100
本日	10／15	63	5	35	2	2	－	37	61.667％

【次回11月5日】　「ローターアクト地区大会報告」

2025～2026年度　北見R.C.活動方針

「クラブに革新を　笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

ローターアクト

1960年代初頭の「インターアクト・クラブ」の成功を受け、ＲＩ理事会は、1968年に「ローターアクト」を設置しました。この新しい組織は、18～30才までの青年男女のクラブで、責任ある市民としての資質とリーダーとしての能力を助長しようという目的でつくられました。